

# 集落営農の経営安定化支援

## ねらい

耕作放棄地の増加や集落活動が低下し、担い手不足が懸念される地域では、集落営農組織の育成・経営安定化が重要ですが、既存の集落営農組織においては、米価の下落、生産コストの増大に加え、オペレーターの人員不足、高齢化や組合員の集落意識の低下等から活動の継続が厳しくなっています。

集落営農組織の活動状況や課題を把握し、様々な分野の専門家とのマッチングや伴走支援により、既存組織の経営安定化を図ります。

## 活動地域・対象

地域：県内全域

対象：集落リーダー、集落営農組織代表者、地元農業生産法人等

## 普及活動の目標

- 1 集落営農組織の経営改善 1 組織

## 目標に向けた活動概要

- 1 関係者との打合せ会、個別指導等で既存組織の課題解決、経営改善を支援しました。
- 2 県経営戦略会議アドバイザーによる現地検討、経営・財務等の伴走支援を行いました。



関係者による打合せ会



アドバイザーによる指導

## 普及活動の成果

○経営継承を模索する農事組合法人（1法人）に対し、経営管理の状況を把握しながら、県農地中間管理機構、県農業会議、水稲管理に精通する大規模農業法人等の支援を得て、地元農業法人等とのマッチングを促進することができました。

そのなかで、

◇経営が黒字となる作付計画の作成

◇経営継承の道筋として農地中間管理機構との農地の貸借契約期間が終了する年度を目標年度として

- ・経営継承を目指す農業法人による継承すべき農地の順位付けや水稲水管理の慣行のマニュアル化
- ・組合員（土地所有者）への理解促進を進めていくことを決定することができました。



（農地管理マップの作成・農業法人との共有）

用語

集落営農法人とは、集落など一定の地域を単位として、組織や集落内の合意に基づき、営農活動を共同で行う組織のことであり、地域全体で農地を守るための取り組みです。

説明

集落営農には、機械や施設の共同利用による生産コストの低減などのメリットがあることから集落営農組織を地域農業の担い手と位置づけています。

## 今後の発展方向

- 1 経営戦略会議、研修会、個別指導等で既存組織の課題解決、経営改善を支援します。
- 2 市町村等関係機関と連携し、地域の特徴や状況にあった集落営農等担い手育成を進めます。

## 関係者からの声

（既存集落営農法人、水稲大規模農業法人）

- ・組織の経営改善、管理している農地等の別法人への円滑な継承をしっかりと進めたい。
- ・現在の米価の状況では、飼料用米等の作付けや農作業受委託に取り組まなければ、土地利用型法人や、集落営農組織の経営は困難であることを前提に推進すべきである。

（ほ場整備を計画する生産者）

- ・地域の担い手となるよう機械作業の受け皿組織としての法人化を検討したい。集落営農も視野に入れたい。

**高度技術支援課** 連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel：088-674-1922